

学校名	設置者 (フリガナ) 学校名	岩手県立 イチノセキセイメイシエンガッコウ 一関清明支援学校	岩手県立 カマイシショウウシエンガッコウ 釜石祥雲支援学校	宮城県立 ヤマモトシエンガッコウ 山元支援学校								
住所		〒021-0041 一関市赤荻字上台96番5	〒026-0053 岩手県釜石市定内町4丁目9番5号	〒989-2202 亘理郡山元町高瀬字合戦原100-2								
電話番号		0191-33-1600	0193-23-0663	0223-37-0518								
代表メールアドレス		ich-r@iwate-ed.jp	kam-y@iwate-ed.jp	yamayou@od.myswan.ed.jp								
校長氏名		菅原 桂吾	柏崎 りえ	樋口 美穂								
メールアドレス		ptf59-k5sugawara@iwate-ed.jp	ptf63-rie@iwate-ed.jp									
研究委員会担当者氏名		土田 江利子	三浦 こずえ	佐藤 至								
メールアドレス		ptf9-tsuchida-eriko@iwate-ed.jp	ptf22-kozue-m@iwate-ed.jp	sato-i392@td.myswan.ed.jp								
学校の基本情報	対象とする障がい種別	聴覚・肢体不自由・病弱・知的		病弱・肢体不自由・知的		知的障害・病弱						
	在籍児童生徒数	在籍児童生徒数(R2年5.1現在)		在籍児童生徒数(R2年5.1現在)		在籍児童生徒数(R元5.1現在)						
	幼	人	計	幼	人	計	幼	人	計			
	小	4	人	計	小	21	人	計	小	9	人	計
	中	54	人	170	中	13	人	69	中	6	人	46
	高	40	人		高	35	人		高	31	人	
	通学等の状況	通学等の状況		通学等の状況		通学等の状況		通学等の状況				
	自宅通学	人	自宅通学	157	人	自宅通学	61	人	自宅通学	33	人	
	病院等から通学	人	病院等から通学	9	人	病院等から通学	0	人	病院等から通学	7	人	
	病院等への訪問	人	病院等への訪問	2	人	病院等への訪問	8	人	病院等への訪問	6	人	
在宅訪問	人	在宅訪問	2	人	在宅訪問	0	人	在宅訪問	0	人		
脳性まひ委員会に関する情報	対象児童生徒の数	対象児童生徒の数		対象児童生徒の数		対象児童生徒の数						
	幼	人	計	幼	人	計	幼	人	計			
	小	0	人	計	小	2	人	計	小	1	人	計
	中	10	人	22	中	2	人	13	中	0	人	13
	高	4	人		高	9	人		高	12	人	
	通学等の状況	通学等の状況		通学等の状況		通学等の状況		通学等の状況				
	自宅通学	人	自宅通学	10	人	自宅通学	5	人	自宅通学	0	人	
	病院等から通学	人	病院等から通学	8	人	病院等から通学	0	人	病院等から通学	7	人	
	病院等への訪問	人	病院等への訪問	2	人	病院等への訪問	8	人	病院等への訪問	6	人	
	在宅訪問	人	在宅訪問	2	人	在宅訪問	0	人	在宅訪問	0	人	
猶予・免除者、過年齢者の受け入れの有無	あり		有		有		有					
・特色ある教育活動 ・大切にしている取組 など	・岩手病院との緊密な連携 ・地域等、校外作品展への出展 ・幅広い年齢層に対応する教育活動		①重度重複学級同士の学部を越えた異年齢集団の交流「HAPPYタイム」(中・分) ②教育課程を越えた同学年・同学団・他学団とのつながり(小) ③地域との交流教育(高) ④安全や健康・体力に考慮した学習		①自立活動を主とした教育課程において、学習に取り組んでいる。また、隔週1時間程度、生活単元学習の授業を計画している。 ②病棟連絡会や病棟職員とのケース会を通して、病棟との連携を図りながら教育活動を行っている。							
教育活動における課題	・集団活動への参加や友達と一緒にの活動 ・医ケア対象であってもハード、ソフト面が整えられない		・集団学習の確保(小) ・家庭との連携(小) ・気候、天候等に左右される外気浴等屋外での活動の確保(分) ・新型コロナウイルスにより中止になった行事等に代わる授業の確保(分) ・リモートによる交流等の構築(分)		・医療的ケアが必要な児童生徒が校外学習等に出かける際に、看護師が付き添えないことが課題である。 ・保護者が高齢であったり、後見人であったりするため、病棟への面会が少なく、家庭と連携をすることが困難である。							
隣接・提携する病院等の名称	・独立行政法人国立病院機構岩手病院		・独立行政法人国立病院機構釜石病院		・独立行政法人国立病院機構宮城病院							
校内外における過去の脳性まひや重度重複障害教育等についての研究等	平成30・31年度校内研究 学部研究 山目校舎〔体づくり〕、あすなる分教室〔認知・コミュニケーション〕		令和元年度校内研究(グループ)		・東北病連研究協議会(話題提供) ・校内授業研究							
(情報交換したい事柄や情報提供)	・脳性まひ等生徒の高等学校や大学受験の取り組みやより主体的に学べる環境づくりについて情報を提供してほしい		・視覚やスイッチ入力活用(中・分)		・就学猶予免除学齢超過者である生徒の指導内容、方法、支援の工夫について ・コロナ禍における各校の特色ある指導について							

学校名	設置者 (フリガナ) 学校名	栃木県立 アシカガトクベツシエンガッコウ 足利特別支援学校	千葉県立 ニトナトクベツシエンガッコウ 仁戸名特別支援学校	静岡県立 テンリュウトクベツシエンガッコウ 天竜特別支援学校											
住所		〒326-0011 足利市大沼田町619番地1	〒260-0801 千葉市中央区仁戸名町673	〒431-3423 浜松市天竜区渡ヶ島201-2											
電話番号		0284-91-1110	043-264-5400	053-926-2255											
代表メールアドレス		ashikagatoku@tochigi-edu.ed.jp	nitona-sh@chiba-c.ed.jp	tenryu-sh@edu.pref.shizuoka.jp											
校長氏名		林 博子	相川 利江子	岩附 祥子											
メールアドレス		hayashi-h01@tochigi-edu.ed.jp	r.aikw@pref.chiba.jg.jp												
研究委員会担当者氏名		有澤 明子	鈴木 ゆきみ	城 歩											
メールアドレス		arisawa-a01@tochigi-edu.ed.jp	nitona-sh@chiba-c.ed.jp	ayumi01.jo@edu.pref.shizuoka.jp											
学校の基本情報	対象とする障がい種別	病弱													
	在籍児童生徒数	在籍児童生徒数(R2年 5.1現在)													
	幼	人	計	幼	人	計	幼	人	計						
	小	18	人	41	人	小	11	人	38	人	小	30	人	90	人
	中	11	人		人	中	19	人		人	中	18	人		人
	高	12	人		人	高	8	人		人	高	42	人		人
	通学等の状況	通学等の状況			通学等の状況			通学等の状況							
	自宅通学	人	自宅通学	25	人	自宅通学	6	人	自宅通学	34	人				
	病院等から通学	人	病院等から通学	11	人	病院等から通学	24	人	病院等から通学	26	人				
	病院等への訪問	人	病院等への訪問	4	人	病院等への訪問	8	人	病院等への訪問	30	人				
在宅訪問	人	在宅訪問	1	人	在宅訪問	0	人	在宅訪問	0	人					
脳性まひ委員会に関する情報	対象児童生徒の数	対象児童生徒の数			対象児童生徒の数			対象児童生徒の数							
	幼	人	計	幼	人	計	幼	人	計						
	小	14	人	25	人	小	9	人	19	人	小	9	人	21	人
	中	6	人		人	中	8	人		人	中	4	人		人
	高	5	人		人	高	2	人		人	高	8	人		人
	通学等の状況	通学等の状況			通学等の状況			通学等の状況							
	自宅通学	人	自宅通学	10	人	自宅通学	0	人	自宅通学	0	人				
	病院等から通学	人	病院等から通学	11	人	病院等から通学	11	人	病院等から通学	0	人				
	病院等への訪問	人	病院等への訪問	4	人	病院等への訪問	8	人	病院等への訪問	21	人				
	在宅訪問	人	在宅訪問	0	人	在宅訪問	0	人	在宅訪問	0	人				
猶予・免除者、過年齢者の受け入れの有無	有			なし			なし								
・特色ある教育活動 ・大切にしている取組 など	①外部専門家からの助言をもとに、確かな実態把握と指導の充実を図っている。 ②児童生徒の表出からスタートする自立活動の指導を充実させるよう取り組んでいる。			・心身の諸機能を最大限に発揮できるようにし、自ら明るく生きようとする意欲や態度を育てることを目標とし、医療との密接な連携のもとに教育活動を進めている。			①病棟の医療、療育、リハビリとの連携（カンファレンスでの情報共有、療育活動への参加、リハビリ見学など） ②意欲を育む授業づくり（一人一授業研究の実施など）								
教育活動における課題	・医療的ケア対象児の増加、ケア内容の多様化に伴う看護師不足による、教育活動の制限への対応			・児童・生徒の実態に応じた教育課程の編成 ・児童・生徒の障害の重度・重複化に対応した指導・支援の充実			・家庭との連携 ・コロナ禍での集団活動の取り組み（グループの構成、活動計画、授業内容の工夫など）								
隣接・提携する病院等の名称	・社会福祉法人 全国重症心身障害児(者)を守る会 保健医療・福祉施設あしかがの森あしかがの森足利病院			・独立行政法人国立病院機構千葉東病院			・独立行政法人国立病院機構天竜病院								
校内外における過去の脳性まひや重度重複障害教育等についての研究等	・令和元～2年度研究テーマ「子どもの主体性を育む生活単元学習の進め方～見え方に配慮して～」(院内学級) 「子どもの発信から広げる授業づくり～コミュニケーションの深まりを目指して～」(通学グループ)			平成28年度校内研究会 平成29年度校内研究会 平成30年度校内研究会 令和元年度校内研究会 令和2年度校内研究会			<主な校内研修の取り組み> 平成30年度 視覚に関する研修 令和元年度 からだ研修 令和2年度 スイッチ等教材教具に関する研修								
(情報交換したい事柄や情報提供)	・見えにくさ、聞こえにくさに配慮した重度重複障害児の指導の工夫について			特になし			・コロナウィルス感染症防止の中で、訪問教育の授業はどのように取り組まれているか。休校中の訪問教育の児童生徒への学習保障は、どのようにされているか。オンライン授業の実施の有無など各校の取り組みについて知りたい。								

学校名	設置者 (フリガナ) 学校名	岐阜県立 ナガラトクベツシエンガッコウ 長良特別支援学校	奈良県立 ナラヨウゴガッコウ 奈良養護学校	和歌山県立 ミハマシエンガッコウ みはま支援学校							
住所		〒502-0071 岐阜市長良1237番地	〒630-8051 奈良市七条町135	〒644-0044 日高郡美浜町和田字松原1138の 259							
電話番号		058-233-7418	0742-34-2671	0738-23-2379							
代表メールアドレス		c27373@gifu-net.ed.jp	info039@nps.ed.jp	postmaster@mihama-sh.wakayama-c.ed.jp							
校長氏名		鹿嶋 成美	平井 克季	植野 博之							
メールアドレス		kashima-narumi@pref.gifu.lg.jp	hirai-katsuki-32@nps.ed.jp	ueno-h009@wakayama-c.ed.jp							
研究委員会担当者氏名		山田 慎二	寺口 規子	田端 友梨							
メールアドレス		p29465@gifu-net.ed.jp	teraguchi-noriko-34@nps.ed.jp	tabata-y004@wakayama-c.ed.jp							
学校の基本情報	対象とする障がい種別	病弱・肢体不自由		病弱							
	在籍児童生徒数	在籍児童生徒数(R2年5.1現在)		在籍児童生徒数(R2年5.1現在)							
	幼	0	人	計	幼	0	人	計			
	小	19	人	56	小	72	人	142			
	中	12	人		中	36	人				
	高	25	人	高	34	人	高	34	人		
	通学等の状況	通学等の状況		通学等の状況	通学等の状況						
	自宅通学	人	自宅通学	28	人	自宅通学	88	人	自宅通学	40	人
	病院等から通学	人	病院等から通学	8	人	病院等から通学	18	人	病院等から通学	7	人
	病院等への訪問	人	病院等への訪問	14	人	病院等への訪問	23	人	病院等への訪問	7	人
在宅訪問	人	在宅訪問	6	人	在宅訪問	13	人	在宅訪問	0	人	
脳性まひ委員会に関する情報	対象児童生徒の数	対象児童生徒の数		対象児童生徒の数		対象児童生徒の数					
	幼	0	人	計	幼	0	人	計			
	小	9	人	25	小	9	人	23			
	中	5	人		中	6	人				
	高	11	人	高	8	人	高	6	人		
	通学等の状況	通学等の状況		通学等の状況		通学等の状況					
	自宅通学	人	自宅通学	2	人	自宅通学	0	人	自宅通学	0	人
	病院等から通学	人	病院等から通学	6	人	病院等から通学	0	人	病院等から通学	7	人
	病院等への訪問	人	病院等への訪問	13	人	病院等への訪問	23	人	病院等への訪問	7	人
	在宅訪問	人	在宅訪問	4	人	在宅訪問	0	人	在宅訪問	0	人
猶予・免除者、過年齢者の受け入れの有無	なし		H25年度で受け入れ終了		有り						
・特色ある教育活動 ・大切にしている取組 など	・隣接および訪問教育を実施する医療機関との連携(月1回、連絡会を実施) ・安心安全な体制の整備と推進のための訓練や研修の充実		隣接する病棟との連携		①自立活動及び領域・教科を合わせた指導として、遊びを取り入れた活動に取り組んでいる。 ②重度重複障害のある児童生徒に対して初期感覚を活用した取り組みを行っている。						
教育活動における課題	・新学習指導要領の実施に向けた、年間指導計画や個別の指導計画の見直し ・ICT機器を効果的に活用した授業改善		・隣接する病棟、家庭との連携 ・医療的ケアの必要な児童生徒の指導(処置の時間と授業時間の調整など) ・コロナ禍における教育活動の変化、制限等への対応		・重度重複障害のある児童生徒の実態把握						
隣接・提携する病院等の名称	・長良医療センター ・岐阜県総合医療センター		・国立病院機構 奈良医療センター ・重症心身障害児学園・病院 パルツァ・ゴードル ・東大寺福祉療育病院		・独立行政法人国立病院機構和歌山病院						
校内外における過去の脳性まひや重度重複障害教育等についての研究等	・令和元年～3年度研究テーマ「主体的に社会とかかわる力を育てる病弱教育の在り方」 ～新学習指導要領を踏まえた授業づくりを通して～		平成28年度近病連大会研究発表		毎年 校内研修 令和元年度近畿・東海・北陸地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会分科会発表						
(情報交換したい事柄や情報提供)			・高等部卒業後の支援についてはどうされているのか。 ・コロナ禍の現状における対応について施設内・病院内訪問を行っている学校はどうしておられるのか。		重度重複障害のある児童生徒に対してICT機器を用いた取り組みでどのようなことを行っているか。						

学校名	設置者 (フリガナ) 学校名	鳥取県立 トトリヨウゴガッコウ 鳥取養護学校	徳島県立 カモジマシエンガッコウ 鴨島支援学校	大分県立 ベップシエンガッコウイシガキバルコウ 別府支援学校石垣原校							
住所		〒680-0901 鳥取市江津260番地	〒776-0031 吉野川市鴨島町敷地1392番地2	〒874-0838 別府市大字鶴見4050の293							
電話番号		0857-26-3601	0883-24-6670	0977-24-6060							
代表メールアドレス		torivo-s@mailk.torikyo.ed.jp	kamojima_ss1@mt.tokushima-ec.ed.jp	a33123@oen.ed.jp							
校長氏名		中家 岳史	森本 真由美	小林 京子							
メールアドレス		nakaie.tk@mailk.torikyo.ed.jp	morimoto_mayumi.1@mt.tokushima-ec.ed.jp	kobayashi-kyouko@oen.ed.jp							
研究委員会担当者氏名		吉田 浩之	藤原 美咲	穴井 曜子							
メールアドレス		yoshida_hr6@mailk.torikyo.ed.jp	fujwara_misaki_2@mt.tokushima-ec.ed.jp	anai-youko@oen.ed.jp							
学校の基本情報	対象とする障がい種別	病弱・肢体不自由		病弱							
	在籍児童生徒数	在籍児童生徒数(R25.1現在)		在籍児童生徒数(R元5.1現在)							
	幼	人	計	幼	人	計					
	小	20	人	60	人	小	4	人	13	人	
	中	18	人		中	6	人		高	6	人
	高	22	人		高	6	人				
	通学等の状況	通学等の状況		通学等の状況	通学等の状況						
	自宅通学	人	自宅通学	61	人	自宅通学	14	人	自宅通学	0	人
	病院等から通学	人	病院等から通学	0	人	病院等から通学	1	人	病院等から通学	1	人
	病院等への訪問	人	病院等への訪問	0	人	病院等への訪問	5	人	病院等への訪問	12	人
在宅訪問	人	在宅訪問	0	人	在宅訪問	2	人	在宅訪問	0	人	
脳性まひ委員会に関する情報	対象児童生徒の数	対象児童生徒の数		対象児童生徒の数	対象児童生徒の数						
	幼	人	計	幼	人	計	幼	人	計		
	小	6	人	24	人	小	4	人	11	人	
	中	6	人		中	2	人		高	5	人
	高	12	人		高	1	人				
	通学等の状況	通学等の状況		通学等の状況	通学等の状況						
	自宅通学	人	自宅通学	24	人	自宅通学	3	人	自宅通学	0	人
	病院等から通学	人	病院等から通学		人	病院等から通学	0	人	病院等から通学	0	人
	病院等への訪問	人	病院等への訪問		人	病院等への訪問	4	人	病院等への訪問	11	人
	在宅訪問	人	在宅訪問		人	在宅訪問	1	人	在宅訪問	0	人
猶予・免除者、過年齢者の受け入れの有無		なし		近年の在籍なし		有り					
・特色ある教育活動 ・大切にしている取組 など		とりよしの学び3つの柱 「こころ」主体性や自己表現力の育成 「からだ」学びを支える健康な体づくり 「せいかつ」自己選択や自己理解を積み 上げ自立と社会参加をめざす。		・オリンピック・パラリンピック教育推進校 としてポッチャの交流および普及に取り 組んでいる。 ・遠隔教育・遠隔交流に取り組んでいる。	①児童生徒の1人1人の教育的ニーズに応じ た教育実践をおし、豊かな人間性を育み自 立と社会参加をめざす児童生徒を育成する。 ②児童生徒のよりよい生活をみすえ、丁寧な 実態の把握の仕方に習熟し、指導・支援のあ り方を工夫する。						
教育活動における 課題		・学習指導、授業改善 ・保護者や地域の期待と願いに応える。 ・児童生徒の健康と安全を守る。 ・センター的機能の充実		・児童生徒数の減少のため、集団の形成 が難しい現状の中での社会性の育成や 集団活動の場や機会の設定・充実	・児童生徒数の減少のため、集団の形成が難 しい現状の中での社会性の育成。 ・最重度の児童生徒の実態把握、引継ぎ。 ・短期入院の児童生徒の学習保障と個別課 題の対応。						
隣接・提携する 病院等の名称		・鳥取県立中央病院 ・鳥取療育園		独立行政法人国立病院機構徳島病院	独立行政法人国立病院機構西別府病 院						
校内外における過去の 脳性まひや重度重複 障害教育等につ いての研究等		令和元年度校内研究 ・主体的な学びを育む授業づくり～個別 の教育的ニーズと教科の視点から～ 平成30年度校内研究 平成29年度校内研究		・令和元年度中四病連岡山大会研究発表 「自立活動を主とした教育課程で学習する児 童に視線入力装置を導入した取組について」 ・令和2年度中四病連広島大会研究発表(誌 上発表) 「隣接する医療機関との連携～児童生徒が豊 かな生活を送るために～」	・令和元年第59回九州地区病弱虚弱教育 研究連盟研究協議会発表(教科指 導・自立活動分科会) ・校内研究において、重度重複の児童 生徒の動画による実態把握、授業改善、 引継ぎを行う。						
(情報交換したい事柄や 情報提供)		○新型コロナウイルス感染症の感染拡大 防止のため、グループ学習や摂食、保 護者の入校制限などのような対応をし ているか。		・オンラインによる授業の取組について ・オンラインによる授業を行う上でのネット ワーク環境の整備や機器の活用につ いて ・病棟閉鎖に伴う児童生徒の授業保障 について	・重度重複の児童生徒の主体的・対話的 で深い学びとは？ ・コロナ禍における入院生の学習保障に ついて。						

学校名	設置者 (フリガナ) 学校名	沖縄県立 モリカワトクベツシエンガッコウ 森川特別支援学校			
住所	〒903-0128 西原町字森川151番地				
電話番号	098-945-3008				
代表メールアドレス	school@morikawa-sh.open.ed.jp				
校長氏名	友利 敏博				
メールアドレス	head@morikawa-sh.open.ed.jp				
研究委員会担当者氏名	高野 真				
メールアドレス	takanomk@open.ed.jp				
学校の基本情報	対象とする障がい種	病弱・肢体不自由			
	在籍児童生徒数	在籍児童生徒数(R2年 5.1現在)			
	幼	人	計	幼	人
	小	人		小	1 人
	中	人		中	11 人
	高	人		高	18 人
	通学等の状況	通学等の状況			
	自宅通学	人		自宅通学	22 人
	病院等から通学	人		病院等から通学	0 人
	病院等への訪問	人		病院等への訪問	8 人
在宅訪問	人		在宅訪問	0 人	
脳性まひ委員会に関する情報	対象児童生徒の数	対象児童生徒の数			
	幼	人	計	幼	人
	小	人		小	0 人
	中	人		中	0 人
	高	人		高	2 人
	通学等の状況	通学等の状況			
	自宅通学	人		自宅通学	1 人
	病院等から通学	人		病院等から通学	0 人
	病院等への訪問	人		病院等への訪問	1 人
	在宅訪問	人		在宅訪問	0 人
猶予・免除者、過年齢者の受け入れの有無	なし				
・特色ある教育活動 ・大切にしている取組 など	①社会参加・自立に向けた課題の効果的な解決を図るため、学部全体で自立活動に取り組んでいる。 ②本校・院内学級の連携を中心にICTの活用が日常的に行われている。				
教育活動における課題	・児童生徒のニーズに応じた自立活動の指導の充実 ・心因性疾患等、児童生徒の実態に応じた教育課程の編成				
隣接・提携する病院等の名称	・独立行政法人国立病院機構沖縄病院				
校内外における過去の脳性まひや重度重複障害教育等についての研究等	平成30年度校内研究(個人) 平成29年度校内研究(個人) 平成27年度校内研究(個人) 平成24年度校内研究(個人)				
(情報交換したい事柄や情報提供)	/				